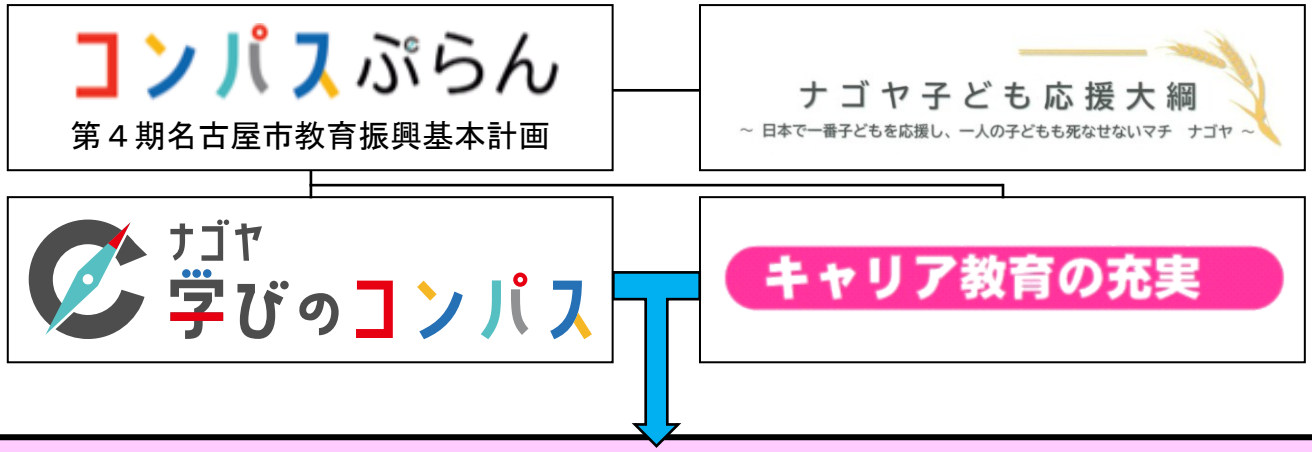
1　教育目標



＜学校教育目標＞

『心身ともに健康で、
将来に向かって学び続ける生徒の育成』

目指す生徒像	目指す教職員像
仲間と学び合い、互いに認め合う生徒の育成 ①学校が好きな生徒　②思いやりのある生徒 ③主体的に学ぶ生徒　④自己決定できる生徒 ⑤規律を守る生徒	学び合い、協働するチーム南陽東中教職員 ①ワークライフバランスの実現 ②主体的に学び続ける教職員 ③学校・学年として協働する教職員

南陽東中学校のチャレンジ（重点目標）	
Ⅰ　学びのコンパス	Ⅱ　キャリア教育
・「関わり愛　学び愛　認め愛」の学校努力点のもと、生徒同士が認め合える場面を設定・工夫する。 ・高校入試に必要となる時期まで学年順位を示さず、順位競争よりも自分の学びに向き合う姿勢を育み、ナゴヤ学びのコンパスが目指す子ども中心で自律した学びを実現する。	・キャリアパスポートを活用して、自己の成長を振り返る場面を設定する。 ・行事・学習を「キャリアの力」に結びつける。 ・探究的なワークで“自分”と“社会”の理解を深める。 ・節目で個別支援（キャリア面談）を実施する。

令和８年度　学校努力点
『　関わり愛　学び愛　認め愛　』

家庭・地域との連携
●南陽東中学校ＰＴＡ　●なごやコミュニティスクール会議　●南陽学区連絡協議会 ●南陽東中ブロックいじめ・問題行動等防止対策連絡会議　等

2　学校教育の努力点とその推進計画

学習指導要領　幼稚園教育要領

ナゴヤ子ども応援大綱

名古屋市教育振興基本計画

学びの方針　ナゴヤ 学びのコンパス

実現したい市民の姿
自由な市民として互いに認め合い、共に社会を創造する

目指したい子どもの姿
ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける

重視したい学びの姿
・自分に合ったペースや方法で学ぶ　・多様な人と学び合う　・夢中で探究する

どの学校園でも大人が大切にしたいこと
子どもは有能な学び手であると理解し、子どもの学びに伴走する
・子ども一人一人の思いや願いを尊重する　・子どもと対話する
・子どもの自分なりのチャレンジを大事にする

令和8年度南陽東中学校　努力点

主　題　『　関わり愛　学び愛　認め愛　』

目指す子ども像

安心して関わり合い、互いに学び合い、成長を認め合うことのできる生徒

主題設定の理由

本校では、令和７年度に実施した職員対象の「努力点アンケート」および生徒・保護者対象の「学校評価アンケート」を通して、学校のよさとともに、今後さらに高めていきたい方向性が見えた。生徒の意識や学校生活の様子からは、特に入学直後の１年生において、安心して過ごし、自分の力を発揮できる環境づくりをより充実させていく必要性が示唆された。また、本校が大切にしてきた授業での学び合いや、日常の中で育まれている思いやりや認め合いの姿を、家庭や地域により分かりやすく伝えていくことも、今後の工夫点として捉えられた。

一方、職員アンケートからは、本校の努力点である「関わり愛・学び愛・認め愛」について、その価値や方向性が職員間で共有されていることがうかがえるとともに、日々の教育活動の中で、意識を持続させ、実践を学校全体で共有していく仕組みづくりが重要であることが明らかになった。現場には努力点を体現した実践が数多く存在しており、それらを拾い上げ、学校文化として広げていくことが、本校の強みをさらに伸ばすことにつながると考えられる。

これらの結果から、本校においては「関わり合い」「学び合い」「認め合い」が相互に結び付き、安心して学び合える循環を、より意識的に育てていくことが、学校全体の充実につながると捉えた。そこで令和８年度は、「関わり愛・学び愛・認め愛」を主題として改めて位置づけ、日常の実践を通して努力点を意識し続け、その意味を学校全体で共有・深化させていくことを目指す。

本主題のもと、生徒が安心して関わり合い、互いに学び合い、成長を認め合える学校づくりを進めることで、本校の教育活動の軸をより明確にするとともに、名古屋市「学びのコンパス」の理念とも並走しながら、持続的な学校文化として定着させていくため、本主題を設定した。

部会ごとの手立てについて

＜学年・学級経営部＞	＜学習指導部＞
○　子どもが安心して関わり合う基盤をつくるための学年・学級タイムの設定 ○　キャリアパスポートを活用した自己と仲間を認め合う活動	○　〝できる実感〟から生まれる安心感の創出 ○　多様な人と学び合う場面の設定・工夫 ○　自他の存在を尊重する態度を育てる授業実践

努力点研究推進計画

	学年・学級経営部	学習指導部
一学期	努力点・部会の設定	
	・努力点および部会の目的共有 ・生徒の実態把握 ・学年・学級タイムの設定計画 ・キャリアパスポートの作成・活用	・努力点の視点の共有 ・生徒の実態把握 ・努力点につなげた授業計画の立案
二学期	・学年・学級タイムの実践 ・キャリアパスポートの活用 ・計画の振り返り、改善	・授業実践の展開 ・授業の振り返り、改善 ・中間まとめ
	中間まとめ報告	
三学期	・学年・学級タイムの実践 ・キャリアパスポートの活用	・授業実践
	学校評価アンケートの実施・分析 次年度に向けた努力点設定および推進計画の立案	

努力点推進の具体的な方法

＜学年・学級経営部＞

・定期的な学年・学級タイムを通して、生徒同士が関わり合う機会を保障し、安心して自己表現できる学級づくりを進める。
・キャリアパスポートを活用し、自身の成長や仲間のよさに気付く振り返りを行い、認め合う雰囲気を学校・学年・学級に広めていく。
・入学期や学年当初において、生徒が学校生活に安心して適応できるよう、承認を意識した関わりを積み重ねる。

＜学習指導部＞

・外部人材や地域との連携を通し、多様な考え方に触れながら学び合う授業や講演会などを計画・実践する。
・授業の中で、生徒一人一人の考えや過程を認め、互いの学びを尊重する姿勢を育てることで、「学び」が「学び合い」になるよう工夫する。
・授業実践を振り返り、努力点の視点がどのように表れているかを共有し、次の実践に生かす。